令和７年度　第１回

日南市教育委員会

会議録

令和７年４月 24 日(木)　午後３時から
日南市役所・別館２階会議室（会議室５）

１　会議の名称　　令和７年度教育委員会　第１回会議（定例）

２　会議日時　　令和７年４月 24 日(木)
　　午後３時 10 分から午後４時 40 分まで

３　出欠確認
（１）出席委員　　都甲政文　黒木由香　別府信一　八木真紀子　佐藤泰信
（２）事務局　　教育部長兼学校教育課長
　　学校教育課学校教育担当監
　　生涯学習課長
　　学校教育課課長補佐兼管理係長
　　学校教育課管理係主任主事

４　場所　　日南市役所・別館２階会議室（会議室５）

５　傍聴者　　１名

６　開会
【都甲教育長】
「定刻となりましたので、令和７年度第１回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」

７　出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員５名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【鬼束部長】
「事務局につきましては、担当職員 5 名出席です。」

【都甲教育長】
「傍聴者は本日１名見えられております。よろしくお願いします。」

８　活動報告
（１）教育長活動報告

【都甲教育長】

・まず 3 月 21 日、この SPS 再認証の説明とありますが、これは飫肥中学校がですね、これ国の指定なんですけども、安全教育をやるってことで、1 回指定を受けたんですね。これはまたもう 1 回こう、いろんなことを考え直して、さらにまた認証を継続するってことでその説明に来ました。それを今年 1 年間、飫肥中学校がもう 1 回その計画を練り直したりとか、やることを考えるということで、飫肥中学校とまた連携をしていくということです。これは日南高校も指定を受けてて、県南では日南高校そして飫肥中学校ということです。

・それから 3 月 22 日、大島の鞍埼灯台が県の重要文化財に指定を受けました。これ鞍埼灯台っていうのは、明治 17 年にできて、日本最古の無筋コンクリート。中に金具が入っていないらしいんですよね。そういうので非常に価値が高いということで指定を受けたようです。最終的にはですね、もう探知機でですね。ちゃんと金具入っていないと確認したそうです。はい。非常に道の駅南郷であったんですが、あそこはちょうどよく見えてですね。良い景色だったんですね。これ大島プロジェクトっていう皆さんがいて、その人たちが一生懸命大島のことやっていただいて、それもあって実現したのかなという感じを受けました。

・それから続きまして 25 日小学校の卒業式。私飫肥小学校行きましたけども、また皆さんから小学校中学校の卒業式のご感想をお願いします。

・それから 3 月 25 日にマルマンの、宮崎マルマンのスケッチブックの工場長さんが見えたんですけど、これは何かですね、マルマンが神奈川県に工場があるんですけど、日南北郷の工場とたとえば、神奈川に何年間行って宮崎戻って来れるっていうようなことをしたいってことで、結局、そういう働き方ができますよっていうのを、本来は高校なんでしょうけどうちにもそういう説明に来ていただきました。

・それから続きましては 27 日が辞令交付式。校長先生を中心にあとは校長に採用された方、教頭に再就任された方に対して、辞令をいたしました。

・そして 3 月 28 日金曜日です。王子製紙新労働組合から寄付金。これ交通遺児の育英金なんですけども、昭和 49 年から続いてまして、もう 500 万円ぐらいになってますね。なんかこう門に立って、工場の。募金活動をされてるということをお聞きしました。

・3 月 28 日、いじめ防止対策委員会。これ外部の方をですね、委員にお願いしたんですけども、年 1 回から 2 回ぐらいはこういう会を開いて、今回は本市のいじめと不登校の件数とかを見ていただいてですね、ご理解を願ったところです。

・それから書いてありませんけども、北郷小中学校はですね、西日本シティ銀行というところがやっている『西日本シティ財団アジア未来大賞』を受けまして、結局ほらシンガポールともう 30 年やってるってことが認められて、その表彰が授賞式が 3 月の中旬にあったんですけども、その報告に市長のところに表敬で来られました。

・シャンシャン馬道中唄開会式に今年も行ったんですけども、非常に全国からも来ていただいてですね。なんかすごいなっていう思いと、ちょっと宮崎県からの数が少ないっていうことを何か、関係者の方が言われていました。はい。

・そして 3 月 31 日、文芸協の会長さん 5 名。これは鈴木さんっていう書道やいろいろやっ

てる方が今回教育委員会の表彰を受けられて、そのお礼に来られました。
・続きまして、辞令交付式が4月1日。始めスタートしたわけですけども、市長部局それからこっちに来た人とかですね、いろいろ。先ほど来たメンバーとか紹介しましたけど、辞令を渡しました。
・それから同じ日の10時半から。今度は学校の先生たちの、新しい先生の辞令をお渡ししたんですけども、22歳が一番下ですね、一番上は52歳です。22歳の新卒の先生が誓いの言葉を言ったんですけども、しみじみこう見てですね、若いなあと思ってですよ。一時やっぱり22歳がおらんかったんですよ。倍率が高い時にはね。みんな臨時を経験して、25、26だったんですけど、やっぱり22って若いなと思ってですね。なんていうか、大事に育てなければいかんなと思ってですよ。そう思いました。キラキラした目で誓いの言葉を言ってくれたので。それからそのあと初期研修で私毎年話すんですけども、スタートにあたって私なりに考える心構えを話させてもらいました。
・その同じ日にお昼から日南高校の新しい校長先生がお見えになり、挨拶に来られました。
・そして4月2日、この日は初めての校長会だったんですけども、人事異動のときお話しましたように、6名新しい校長が誕生して、2名よそから入ってこられて、8名変わったわけですけども、今年私がお願いしたのは、もう「チーム学校」でお願いしますと。やっぱり1つのチームとして学校を引っ張っていってくださいっていう話をしました。
・そのあと市外からこの日南市に来られた先生方の新任式。大体 80 名ですね、来られて、いろいろ挨拶をさせていただきました。
・それから4月3日、中部教育事務所。うちがお世話になる教育事務所ですけども、所長以下挨拶に来られたんですけども、ほとんどメンバー変わっていてですね。また、新しい事務所になったのかなと思いました。
・そして4月7日。市内の学校が始まったということで、飫肥小学校と北郷小中学校に始業式を見に行かせてもらいました。初めて小学校の始業式をですね、最初から見たんですけど、学級編制が面白いですね、やっぱりすごいんですよ学級編成が。誰々先生だってなったらうわーってなってですね、あれ歓声がわかない先生は何かね。人気のバロメーターみたいな。司会の先生が小学生には静かにしましょう。落ち着きましょうというそういうような形で、何か非常に盛り上がってましたよね。
・そして8日ですね、夕方。スポーツ推進員っていう方がいらっしゃいますけども、15名いらっしゃってですね、委嘱書を交付させてもらいました。
・そして4月9日は市内の中学校、小中学校一貫校ですね、入学式で。私は鵜戸小中学校に行かせてもらって、小学生が3人、中学生が3人だったんですけども、やっぱり非常にね、少人数ですけども、皆さんでお祝いしようということで。もう来賓の数が多くてですね、一番多かったですね。印象に残ったのは保護者の方が挨拶されるじゃないですか、最後にお願いしますって。もう汗びっしょりになっていたんですけど。なんか言葉あいうえおって知ってますかって。あいうえおの愛で始まり、最後は恩で終わるみたいな形で、ていうのをまずメモしたいなと思ってね。

・それから日南高校の入学式に行かせてもらいました。
・そして 11 日は潟上小学校、これ 7 名だったんですね。かわいい 1 年生でした。
・12 日が退職校長会の総会に行かせてもらったんですけど、なんとですね、私の中学校の時のですね、担任の先生がいらっしゃるんですよ。その方は最年長で 88 歳ですね。もうすぐ僕のところに来られて、もういまだに都甲君って話してくれるんですけど、挨拶をさせてもらったんですけども、いい機会ですので、今の状況をですね。例えば子供の数が入ってきてること。あと、いじめとかやっぱり不登校のことということをお話してですね、少しでも今のことを理解してもらおうと思ったところでした。
・そして 4 月 14 日、南九州大学の学長さんにお会いしたんですけど、これは夏にですね、うちは塾をしますよね。南九州大学も結構そういう高校生とかに出前授業とかしてくれていまして、あそこ園芸学部があるもんですから、今回、今年の 7 月は中学校の生徒をですね、南九州大学まで連れていって、あそこの園芸の先生にちょっとお願いしたところでした。
・そして 15、16 にかけてですね、新任校長 6 名をですね、学校訪問させてもらいました。非常になんていいますか、やる気もあってですね。よく言われるのが、やっぱり教頭の時と見える景色が違うということですよね。校長になって、そういう気持ちを大事にしてくださいってことで、帰ってきたところでした。

（２）委員活動報告

【別府委員】

ちょっと今回は入学式にちょっと参列することができませんで、本当申し訳なかったなと思ってるところでございます。

あと 3 月 24 日に日本赤十字社の宮崎県南支部日南地区の理事会に参加いたしました。

こちらの会議の方では予算案と事業計画案の議題がありまして、予算の中でなんですけれども赤十字の活動推進という形で、年間 1 万 2000 円の活動費を各学校に助成しているということでした。加盟校は小学校が 5 校、中学校が 7 校、高校が 1 校とのことでした。

続きまして 3 月 25 日に日南市の共同募金運営委員会に参加してきました。こちらの会議の方でも議事と報告事項がございましたが、日々の人口減少や自治会の減少等によって、個別募金、また学校備金等が年々減少傾向にあるとのことで、今後はイベント等の募金活動に力を入れていきたいという報告がございました。

【佐藤委員】

小学校中学校高校なんですけど、卒業式入学式に参加させていただきました。先ほど教育長が言われましたけど、私も細田小がですね、非常に少人数で 6 名かな、卒業。だけど、来賓がすごいたくさんでコーディネーターの方も含めてですよ、地域の方が。ただもう、

保護者の方ももう顔見知りで来賓の方と。非常になんかですね、声かけたり、うん。挨拶したり、良い雰囲気でですね、やっぱりたくさんの人に支えられてる学校なんだなっていうのをすごく思いました。小学校中学校高校が通して、そうですね。まあ式の内容はもうずっと何十年も変わらずやってる中で、ただ来賓の方とか保護者の方の挨拶とかを聞くと、学力向上とかですよ。できるようなことを増やして欲しいとかいうことよりも、何ですかね、人生のその目標を見つけて欲しいとか、生き方とかですよ。居場所とかですよ、やっぱりそういうのが何か出てきてるなっていうのがあって、一時の私が言うところの学力向上とかですね。そういうことよりも、人としてどんなふうに生きるかっていうのがやっぱり大きな課題であり、学校に求められていることなんだなっていうのを感じたところで、そこを見るとですね、その辺を謳ってる学校もあれば、どうかなっていうところもあって、だからそこら辺をしっかりやっぱり、うん。学校側がですね、受けとめて考えていかないといけない時代なんだなってのはちょっと思いました。

もう私は今年 63 年ですけど、同期の先生方がまだ頑張っていらっしゃったり、先輩がいらっしゃったりですよ。なかなか教員確保が難しいんだろうなと。同世代の先生たちが頑張ってるっていうのはそれはそれですばらしいんですけど、自分のことなんかも考えるとやっぱり新しいことがなかなか入っていかないからですね。GIGA スクールとかはやっぱりわからんとか、やっぱり言われたりとかですね。あとうちの幼稚園の職員でもこの前、パート職員なんですけど、中学校の恩師の先生から声をかけられて、中学校の授業に行きたいと。経験あるのって言ったら、いやないんですと。だけど家庭科だったらですね、なんかその幼児教育の何か単元があるっていうことで、そこで役に立つんじゃないかということで。恩師に恩返しがしたいということで。幼児教育の単元が繋がってるからぜひ生かして欲しいと。そこでまた一回り大きくなって帰ってきますみたいなこと言うからですよ。それはもう行くなとは言えずに行ってもらうということになったんですけど。なんですかね、先ほどほら、なんか免許持っていらっしゃるけどなかなかね、教員にならないという方も多いっていうことで。うまくなんかそんなのでいろんなところをかけ持ちする働き方とか、多様なやり方でやってですね、なんかこう人材も確保できて、うん。その人のやりがいも満たされるみたいな、なんかそういうのも組織的に何かできると。急にはやっぱり増えないと思うんですよね。だからやりたい、子供たちの教育に関わりたいっていう人をなんか上手にシェアしてですね。うちの場合はたまたま偶然なんですけど、なんか活かせるとですね、いいなというふうに思いました。感想ばっかりですけど、はい。

【八木委員】

私は 3 月 25 日、桜ヶ丘小学校の卒業式に行きました。人数が少ないので全員が将来の夢を語ったんですけれども、もうとてもなんかユニークというか。陶芸家になるとか、小児科の整形外科医になるとか、なんかファッションデザイナーになるとか、何かすごくユニークで、この先の未来が明るくなるような感じがしました。

あと 3 月 21 日は校長先生の送別会。毎年参加させていただいているんですが、本当にすばらしいというか、楽しい時間を過ごさせていただきました。いろんな言葉をいただいてですね、はい。

4 月 9 日が飫肥中学校の入学式。途中で 2 名担架で運ばれたんですよね、倒れて。だから大丈夫かなと思ったんですが、でも伝統を受け継ぐというメッセージをちゃんと送ったという、そういう素晴らしい入学式でした。

あと 11 日が北郷小中学校の入学式に行ったんですけど、何かアットホームな雰囲気で、毎年中学 1 年生が小学 1 年生の手を繋いで行くんですけど、今年小学 1 年生が多かったんですよ。そしたらもう 7 年生が両手に花で入場して、とてもいい雰囲気でした。

あとは個人的にはアビーのお別れお花見ピクニックをしたんですけど、いろんな学校の先生が来たりとか、空港もすごかったですね。すっごいたくさんの方が見送って、そうなんです。もうなんか帰りたくないと言いながら、アメリカに帰っていきました。

あとですね、4 月 6 日に市長表敬もされたんですけど、世界中を自転車で旅するスイスのパッシュファミリーが来たんですよね。イベントのお手伝いをさせていただいて、いろんなお話を聞いたんですけど、すごいんですね。2 人で初め世界一周を旅して、気温が 50 度からマイナス 20 度まで、車だったら 1 時間できるところに 3 時間かけて、本当スローライフでやってるんですね。子供ができて 5 ヶ月間は旅しなかったけど、マレーシアで生まれて、乳母車を後ろにつけて、生後 5 ヶ月から 7 歳と 11 歳の女の子が一緒に旅してて、日本も北海道から沖縄まで旅してるっていう人達なんですけど、もう本当にいろんなことを感じたというか、講演会ですけど。本当に学校には行っていないんですけど、テントスクールって言って、ご両親がいろんなことを教えて。例えば万里の長城に行ったら、そこで面積の計算をするとかですね。その内 11 歳の方が日本の神社とお寺の違いについて、説明してくれたけども、それを聞いたら鳥肌が立ちました。インターネットでもない本からの知識でもない、本当に彼女が体験した。人の祈り姿とか、そういうのを見た言葉だったんですよ。やっぱ体験って大事だなと。なんか学校の勉強も楽しそうですが、やっぱりいろんな体験を日南の子供たちにもさせてあげたいなとすごく感じました。

スイスっていうのは 3 ヶ月で産休が終わって、だから母乳が 3 ヶ月。4 ヶ月目から粉ミルク。3 歳からもう学校、義務教育始めるっていう話も出ているそうです。で、当然やっぱり日本も同じなんですけど、もうアジアの子供の死亡率はもう 1 位が自殺。学校のやっぱり一斉授業についていけなくて、フリースクールがいっぱいなんかすごく増えてるって何か、どこかで聞いたようなって。なんか日本だけではないんだなあと思ったんですね。そしてお母さんが言うには、やっぱり自然っていうのが、自然教育がすごい大事で、もう自然の中で、そしてたっぷり時間があれば、子供たちはちゃんと育つということを記されてた本とかもあるんですけど、もっと来た方にはすごいいろんなメッセージを送られたので。素晴らしいご活躍だったので、また近いものであれば、万博にもいらっしゃるそうなので、ぜひ機会があったら聞いてくださいっていうことで。この間も話したんですけど、日南にもすごい森林環境プログラムの素晴らしいものがあるんですけど、本当大窪小し

かこれを使ってないんですね。もうこれ森林管理職の人が作ってるんですけども、ちゃんとした専門家が作ってて内容素晴らしいんですよ。これ活用されてないので、ぜひこういうのを活用してと思って北郷小中学校に行ったんです。遠足どうですかって校長先生に言ったんですけども、今年1年間の計画は決まってるので、やるとしたら来年からかなあって仰られたんですけど。あと何冊かあるので、もしよかったら皆さんで。こういうプログラムを使えば、森林浴もできるしストレスも解消できるし、いろんなことができると思うので話しました。

【都甲教育長】
やっぱりお膝元の北郷が行かんといかんですね。

【八木委員】
そうなんです。意外と行かれていないんですよ。今年はもう無理って言われました。もう全部入ってますということで。
もう歴史から何からすごいんですよ。昔のことが書いてあったんですけど、その跡とか、水力発電とかですね、なんと怪物って呼ばれたすごく大きい人が押してたりとか。犬も押していたし。そういう昔の 60 年から 70 年前ぐらいの暮らしの話とかそういうことから自然の森の話とかいろんな世界も味わえるだろうし、いろんなことを感じられる本当素晴らしいプログラムだったと思うので、ぜひぜひ。体験学習みたいな短い時間では無理です。やっぱり遠足がいいと思います。お弁当まで食べてこれは無料のプログラムなので、うん。どなたでもできると思うので、ぜひぜひ広げたいなと思います。

【黒木委員】
私も入学式に参加させていただいて、中学校が東郷小中学校の入学式で、小学校が油津小学校に行ってきました。初めて小中一貫の入学式に参加させていただいたんですけど、北郷も1年生と7年生が手をつないでということで、東郷も元々そうしていたんだけど、コロナでそれをやらなくなって、もうそのままに。なんかそれがちょっと寂しいよねっていう話を保護者の方がされていて。その学校学校でね、まちまちなんだなと今聞きながら思ったんですけど、とにかくもう小学 1 年生と中学 1 年生が一緒の会場で入学式するっていうのがもう面白くて。小学生が先生たちの担任紹介の時に、一人一人よろしくお願いしますって返すんですよ。何かそれがかわいくて、中学生は絶対そんなことしないから、もうなんか中学生もふふふって笑ってて、かわいらしい感じの入学式で。でもその素直さも成長するとそうやってね、忘れていくんだなと思いながら見てたんですけど、でもやっぱり 1 年生もその中学生に対してのお祝いの言葉も聞かないといけないから、ちょっとね、挨拶が長くなって。でもなんかしっかり、なんかぶらぶらしながらもちゃんと座って最後まで式をね、あの式に参加してくれたので偉いなあと思いながら。

小学校の入学式も変わらずやっぱり 1 年生が可愛かったんですけど、油津はその地域力がすごいなっていうふうに毎回思って。最初に集まる控え室での盛り上がりがすごかったです。昔の話から今に至るまでの話と、もうだから常に子供たちのことを考えて、常に課題に向き合っているのはやっぱり油津ではで、すごく他の地区とはまた違うものを感じたところでした。なんかこういう方たちがいてくださると安心だなと思って、ありがたいなと思いながら話を聞いていたところでした。

【都甲教育長】

私もこの仕事をして何年か経つんですけど、小学校の入学式の教育委員会の告示っていうのは堅いですね。潟上に行ってこう読んでて、子供たちがはあって聞いていて、もうそういう意味でも何かおかしくてですよ。こっちも真面目に話しているんですけど、ちょっと、来年の入学式は考えます。今度小学校の指導主事が来たので、その人にしっかり考えてもらって。卒業式はちょっとぐらいね、大人の言葉でもいいと思うんだけど。6 歳の子たちに、教育委員会告示はないよなって。指導主事の人にも短くしてよと、言葉も大分やわらかくしたけれど、ただやっぱりもっとね、わかるように言わんといかんですね。

私の知り合いもともと中学校なんですけど、小学校の校長になって今度赴任したんですよ。ちょっと聞いたら、なかなか式に新入生が入場してこなくて、曲が一曲終わったらしいんですよ。あとで理由を聞いたら、入場直前に子どもがトイレって言い出して、3 人トイレに行ったらしいですね。それで結局 1 曲分出てこられなかったと。もうもともと中学校の人間なので、何かおかしいやら、すごいなと思ったりしたらしくてですよ。もうやっぱりそれが 6 歳の子たちですよね。

【佐藤委員】

そこで待ってあげるってのは素晴らしいですね。

【八木委員】

式での三つのお約束は校長先生とかぶる時があるんです。

【都甲教育長】

そうそう。大体約束はかぶっちゃいますよね。挨拶をしましょうとか、ご飯をいっぱい食べましょうとか、うん。あれは先に言われるとちょっとうちは弱いので。言った者勝ちになっちゃいますね。

あと入学式卒業式をコロナの時にかなり削ったじゃないですか。やっぱりそろそろまた行かせてくれないかっていう声もあるんですよ。やっぱり関わったのに最後の姿とか、やっぱり入ってくる姿を見たいっていうのがあるんですよ。だからそれについてはまた校長会で。これはもう校長の判断ですけど。お願いとしてもう 1 回ちょっと考えてみてくれないかと。コロナの前どれぐらいその人をね、呼んでたのか。今以前みたいにですよ、

一人一人もう紹介せんでいいからですよ。立ってもらって、民生委員の皆さんです、で良いわけですから。そこら辺工夫してもらって、やっぱりたくさん来てもらうといいのかなあと。やっぱりある人が言ったのは、お祝いしに行きたいんだけど、呼ばれないと行けないよなぁって話をされてて。ぜひそんなこともしたいなというふうに思ってます。

それから先ほど佐藤委員から言った、その先生たちが足りないっていう話は本当やっぱり足らなかったんですよ、年度末は。今年 4 月になって、職員の名簿みたいなね、かなり新しい人の名前もあって、それが仰ったように、もう 60 歳以上の方がいらっしゃって、66 歳とかですよ。ある学校に行ったら、1 年生を引きつれて先生が歩いてるんですよ。とてもベテランで、聞いたら 63 とか 66 かな、ぐらいです。30 年ぶりに 1 年生教えるとかですね。ですから、そういう方もやっぱ戻ってきていただいて頑張ってもらってるわけなので、まさしく私が言ったように「チーム学校」としてですね、やっぱフォローしていく必要があるのかなあと。先ほど佐藤委員がおっしゃったそのね、自分の可能性もあるし、行ってみたい。本当その言葉ありがたいです。

【佐藤委員】

だけど、やっぱりハードルが高いというかですよ。現役の先生も保護者にいるんですけど、結局 30 人を 1 人でっていうのが、とても自信がないって。だからそのへんの在り様もですね、もう 1 人の職員で見るんじゃなくてとかですよ。もうまあまあ聞こえてくるわけです。いじめは増えてる。不登校も多い。そういう学校に入って、自分でクラスを持てるんだろうかって。最初は担任じゃなかった先生もですよ。もうそのうち担任やってよっていうことになるじゃないですか。だからその辺を考えたら踏み出せないと。仰る通りチームとしてですね、担任だけが背負うんじゃなくて、どうしてもまだ担任がしっかりやらないと、不登校とかいじめが出たら力不足で見られてしまうっていう価値観もありますよね、まだね。だからそうじゃないと。もう今どこでも不登校は生まれるし、そういった多様な学びを求めている時代なんだから大丈夫だよっていうようなものが伝わるとですね。もう一段落ついた方とかですよ。また素晴らしい職場ですもんね。子供たちと一緒に遊びながら早々給料いただいて、本当若返るんじゃないかなと思うんですよね。それが何か苦しさが先にこう伝わってしまってるところがあるんで。

【都甲教育長】

ですから私はその先生の姿見て、やっぱを応援したいなと思いまして頑張って欲しいなってですね。なんか制度がわかりやすく変わるとかですね、できるといいなと思います。

９　前回の議事録承認

令和６年度第 15 回の議事録について了承

１０　議題について

協議１　令和７年度の教育委員会施策について

（鬼束部長）	令和７年度教育委員会施策 学校教育課分について説明。
（重永課長）	令和７年度教育委員会施策 生涯学習課分について説明。
（別府委員）	学校教育の GIGA スクールの推進事業のところで、4600 万ベースの ICT 室の支援員の 4 名のこちらの方の人件費も入ってるっていうのと、あと昨年度にしたデジタルドリルっていうこの利用料もこの 4600 万の中に入ってるっていう形なんでしょうか。
（鬼束部長）	あくまでもこれはその人件費とか委託料の部分だけになります。
（別府委員）	そのデジタルはまた別で、そういうことですか。
（鬼束部長）	はい。仰る通りです。
（八木委員）	学校給食費ですけども、すごくお米が値上がりしてるんですけどちょっと昨年度の予算がよくわからないんですけど、どれぐらい予算差が生まれたんでしょうか。
（鬼束部長）	そうですね、予算総額的には 2000 万ぐらい推移しております。そしてそれぞれ小・中学校プラス。大体の中学校は 30 円ぐらい、小学校がちょっと 20 円弱ぐらい単価をそれぞれ上げてます。
（都甲教育長）	なかなか苦しいですね。
（佐藤委員）	３ページの５番ですけど、教育支援センターの運営事業もこれ人件費がこれだけっていうことですか。
（鬼束部長）	人件費とあと電気代とか水道代とかですね。施設にかかる電話口の光熱費だとかそれプラスで。
（佐藤委員）	中を改装するとか。
（鬼束部長）	そういう計画はこの中には入ってないですね。来年度予算に向けてちょっとそこは検討します。
（佐藤委員）	あと学校給食事業も食中毒防止も大事なんですけど、やっぱり今新型栄養失調でミネラル不足の子がすごく増えてるということで、この前もちょっと話したんですけど、出汁粉、結構安上がりなんです。明らかな効果がなかなかね、わからないんですけど、もう添加物で吸収が阻害される部分を、じゃあもう元々入りにくいんだったら増やしたら良いということで。結構値段的には安くで対応できるんじゃないかなと思うんで、そういった面も安全でなおかつ体に、今の子たちにとってですね、必要な要素だと思うんですけど、その辺また協議をしていただけると良いと思います。

（都甲教育長）	この前ちょっと議会でも聞かれたんですけど、全国的に話題になってるようにカロリーがちょっと足らないんですよね。結構国の基準が高くてですね、カロリーがね。
（鬼束部長）	カロリー控え目にして、逆に麦ご飯とかを使ってビタミン類を上げてやったりとか。栄養教諭の先生たちがバランスのいい食事を考えるという形でメニューを作られてます。
（都甲教育長）	なかなかやっぱり基準が。新聞でも大きく取り上げられて。
（佐藤委員）	高齢者の方はね、よくカロリーが足りてないとか、なんか計算があるみたいですけど。
（都甲教育長）	そういうのもあって、うちの議会でも聞かれています。ですから本当にお金が、物価高騰もあり、そういう中でやっぱりもうセンターの栄養教諭の先生は本当に苦労してやっておられます。
（佐藤委員）	防災関係ってのはまた別予算なんですかね。
（都甲教育長）	防災はですね、いろんな絡みがあって。防災担当の課が今度できましたので、例えば備蓄のことなんかもあるじゃないですか。どうするのかとか。例えば学校に備蓄しとってもらったら、何かの時に学校でも使えるとか。たくさんあっても置くところがね、っていうのは結構問題らしいんですよね。いろんなとこ聞くと。そういうのを担当課がどう考えてくれるのか。だからもしそういう話があれば、学校は今子供たちが減ってるので、割と空き教室があるからですよ。うまくいけるのかなあと。 あと教育委員会として、防災に対して予算とか上がってませんけども、まずはソフト面ですよね。やっぱりもう1回マニュアルを見直すとか、やっぱり今年は10月ぐらいに仕上げての防災の訓練をやろうと思ってるところです。そんなところかなあと思ってですね。
（佐藤委員）	今年の夏も災害が予想されるからですね、やっぱ心配されるからですよ。
（都甲教育長）	そういう意味では去年は何も起こらなかったけども、ああいう雨の線状降水帯も教訓になるのかなあと思ってですよ。大変だったけどですよ。
（佐藤委員）	あと放課後子ども教室が出てますけど、児童クラブとは管轄が違うんですよね。
（重永課長）	はい。違うものです。
（都甲教育長）	一番違うのは預かってくれる時間が違いますよね。あと、おやつが出ると。

（重永課長）	はい。児童クラブではおやつがあります。放課後子ども教室ではないです。
（都甲教育長）	その代わり、児童クラブは何某かのお金をもらうってことですね。
（別府委員）	あれは学校によって、児童クラブは社協の人などがその説明を入学式にするかと思うんですが、放課後子ども教室も同じ形ですか。
（重永課長）	いえ、別です。今年はですね、4 月から使用開始日から受け入れができるようにということで、入学する子は入学して以降なんですけれども、もう事前に説明会は開いてます、3 月に。ただ、皆さん来られるかどうかっていうのまたちょっと別なんですが、大体リピーターの方が多いような感じですね。一番多いのは南郷です。南郷小学校が 70 名近く。放課後子ども教室ですね、ものすごく多くてですね。スタッフの方も大変。一般の方がされていますので。
（佐藤委員）	ちょっと見に行ったわけじゃないんですけど、児童クラブはどっちかっていうと預かる的な感じで、放課後子ども教室っていうのは、体験をいろいろさせてあげるとかそんな感じですかね。
（重永課長）	そうです。放課後子ども教室は基本的に学校の授業中か開業時間。子供たちが安心して過ごせる時間の確保っていうところで学校が開いている時間にですね。だから主に 4 時限目に終わって昼からずっと開いているんであれば、その期間は地域のボランティアの方が受け入れて見守っていただく。なので、各々ほとんど大体まず学習活動っていうか宿題だったり、宅習を済ませて、各々教室の中で教室を借りて今開催してますので、教室の中で手遊びしたりとか、いろんなことをしながら、あとはグラウンドに出て遊ぶとか。学校によって体育館開放してくれています。先生たちの始業時間内ですので、何かあってもある程度の対応はできるということなどが一番大きな特徴なのかなと。ただし放課後児童クラブは全く立て付けが違うっていうところでありますので。
（佐藤委員）	内容はでもあんま変わらないですよね。
（重永課長）	やってることはほぼ変わらないと思います。実際の内容としてはですね。あと学校じゃないところでやられてるところもありますので、児童クラブの方はですね。公民館であるとかですね。6 時までじゃなかったかなと思います。
（八木委員）	宮崎が 7 時です。
（別府委員）	これ自分もちょうどよかったです。僕はこれから多分需要が増えてくると思っていて、この放課後児童クラブと子ども教室の各違い

	とか、どこが管轄ってことがよくわからなかったんで。機会があってそういったのを教えてもらわなかったら分からなかったです。
（都甲教育長）	すっと上まで行ったら、文部科学省と厚生労働省。一番大元が違う。そして割と児童クラブは社協とか幼稚園の経営をしてるとか。どうしかっていうその少しそのお金をもらうので、営利的なところも含めて、じゃないですかね。
（別府委員）	なるほど。学校を貸す場合もあるんですか、そういったところに。東郷とか。
（都甲教育長）	そうですね。東郷は両方あってですよ。
（佐藤委員）	内容は同じでね、有料と無料で。
（都甲教育長）	結局親のニーズですよ、やっぱり。うちはお金払ってでもいいから長く預かって欲しいとか。
（黒木委員）	土曜日も見てくれますよね。お弁当を持たせてとか。
（佐藤委員）	児童クラブとかに給食出せんとかってあるんですか。
（都甲教育長）	そういう話もやっぱあったです。そこまでしてやれんとかって。
（佐藤委員）	ボランティアの方がちょっと知り合いにいらっしゃって、やっぱりなかなか大変と。学校の延長みたいな感じになるんで。教員免許もないし、何とか経験で運営するんですけど、そこで子供たちのいじめとかですよ、トラブルもあって。次の日、学校の教室にそれがまた影響しちゃうっていうことなので。これ、特に研修とかそういうことはないわけですよね。
（重永課長）	年 2 回研修がありました。地域学校協働本部事業と一緒に放課後子ども教室の方も参加される研修はあります。
（八木委員）	資格もありますよね。
（都甲教育長）	放課後子ども教室はいらない。
（重永課長）	あくまでも子供の居場所を作って見守ってあげるっていうのがもう一番の大きな目的でありますので。
（都甲教育長）	だから一番よくあるのは、宿題をやって子供が帰ってくるのが一番親が嬉しいそうです。だから一生懸命指導員の方も宿題やってから遊びなさいっていうと子供たちは一生懸命それでやりますわ。まあね、だんだんねニーズも増えてますしね。
（黒木委員）	この時間のところで残った問題が、その学校だからその保護者とかからすると、学校の先生にこう話しに行きがちだけど、それは学校とはまた別ですよっていうそのあれがちょっとあるっていうのを随分前に聞いたことがあるんですけど。
（都甲教育長）	結局学校のスタンスなんですよ。それはやっぱり校長をはじめ学

	校のやっぱ人間が、延長と言わないけども、やっぱり学校の中で、自分の学校の子供たちが関わっているので知らんではいかんですよね。だからやっぱりその放課後子ども教室なりの先生たちがそういう悩みがあって、訴えてきて、何とかして欲しいっていうのは協力せんといかん。それはやっぱりしちゃいかんと。 　たださっき言ったように、年2回の研修の中では、そこら辺の行き違いがあります。ってのはやっぱり悩みとして正直なところ。だから管理職の考え方も大きいんですよ。ありがたいっていうふうに思ってもらわんとね。
（佐藤委員）	ここがやっぱりね、質的にやっぱ上がらないとですよ。そう、だからここでいろいろトラブルが発生して、せっかく学校で学校経営とか頑張ってても、ここでごたごたあって、それを次の日に教室に持ち込まれると、担任としてはね。知らないところで何なんだということにもなってしまうんで、連携というか、ちょっとその中身の方ですね。
（都甲教育長）	そうですね。
（重永課長）	今の件で、4月の頭にですね、各学校をこの事業の説明といいますか。お願いも兼ねて、学校に行ったときにですね。その説明のときに必ずコーディネーターの方とかも一緒に、同席していただくんですよ。お互いに情報共有をしてくださいね。あと去年の地震のときの線状降水帯の時の対応の連携だったりとか、当然うまくやっていかないとできませんよっていうお願いベースなんですけれども、しました。そして子供たちがですね、やっぱり地域のおばちゃんたちやおじちゃんたちなので、言うこと聞かなかったりやっぱりするんですよね。言っても、先生が言うコラとボランティアの方が言うコラでは全然効き目が違うので、なのでたまにはこう教室覗いてくださいねとか。そういった、そういう部分も学校の方にお願いしてはおります。あとは教育長が言われた通り、学校のとらえ方っていうのも当然ありますので、あくまでもお願いベースでの話になっていくのかなあと。やっぱり皆さんそれぞれ悩みを抱えていらっしゃいますので、ボランティアの方もですね。一番はやっぱりしっかりと連携を取っていただくっていうのが一番なのかなと思っています。

１１　報告について

報告１　３月議会報告について

（鬼束部長）	３月議会報告について説明。
（都甲教育長）	クレーマーのとこがあったんですけど、学校に対するクレームもあると思うが、それをカウントしてるのかっていうことです。私の考えとしては、学校にはクレームはないという考えなんです。いろいろやっぱり相談とか意見だっていう捉え方をしてるから、それに対してしっかり答えているということになりました。あえてこう、はっきりクレームはないとは言えなかったですけど、そういうふうに捉えているということで、はい。
（別府委員）	防災ブックって具体的にどんなやつなんですか。
（都甲教育長）	鵜戸ならではなんですけど、こういうちょっとしたバックにいろんなもの入れて避難する。個人用なんですよ。自分ですぐ下げていけるんですよ。今度ね入学した１年生の分もちゃんと机に置いてあるんです。防災ハンドブックも自分たちで考えて、自分たちで作って。鵜戸だからこそできるわけですよ。そういう考え方は伝えていきたいということですね。
（八木委員）	すみません、卒業式で命のボトルをあげたんですけど、中身を教えてください。
（都甲教育長）	はい。また持ってきます。
（八木委員）	はい、お願いします。
（都甲教育長）	笛とかちょっとした懐中電灯とか。もうビニールのシートとか、うん。だから高校になってかばんの中にあったら、何かあった時にすぐそれが使えるよってやつ。何年か続けたいなというふうに思っています。大分値段は上がったんですけど、印鑑に比べると。でもいいなと思いました。印鑑は自分でも買えるからですね。

１２　その他

（１）５月行事予定について

（２）第２回　教育委員会会議（定例）

①　日時　令和７年５月 22 日（木）　午後３時から

②　場所　日南市役所・別館２階会議室（会議室５）

（３）その他

１３　閉会